

小1プロブレム解消のための指導方法等の工夫について

光市立浅江小学校

幼保・小の連携の充実

幼児期からの学びと育ちを生かす活動や環境を意図的に設定し、子どもが自信や意欲をもって活動し自己発揮できるようにする。

スタートカリキュラム



にこにこタイムに学年でゲームを実施。

登校してからの片づけなどの手順を写真を使って黒板に掲示。



成果

入学当初の4週間で学校生活のリズムに慣れることに重点を置き、45分の授業枠を細分化して実施した。また、朝活動の15分間を「にこにこタイム」と位置づけ、ゲームや読み聞かせ等に取り組んだ。その結果、児童は小学校の生活リズムにスムーズに適應することができた。

幼稚園・保育所との交流



園児と1年生の交流会で、園児による小学校の生活体験。

保育所参観の後の意見交流会。



成果

幼稚園・保育所の教職員に小学校の授業を参観してもらったり、逆に幼稚園・保育所の様子を参観させてもらったりした。気付きや感想を交流し合うことで相互の教育内容・方法を知ることができ、児童理解を深めることができた。